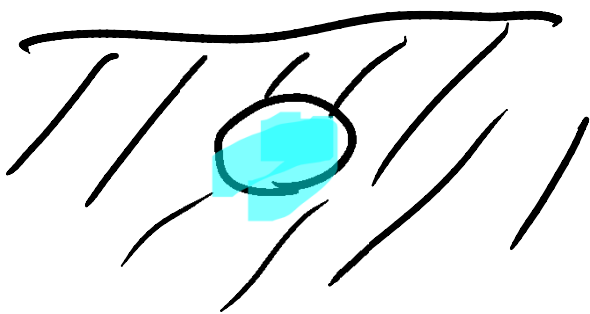


創造工学の絵本

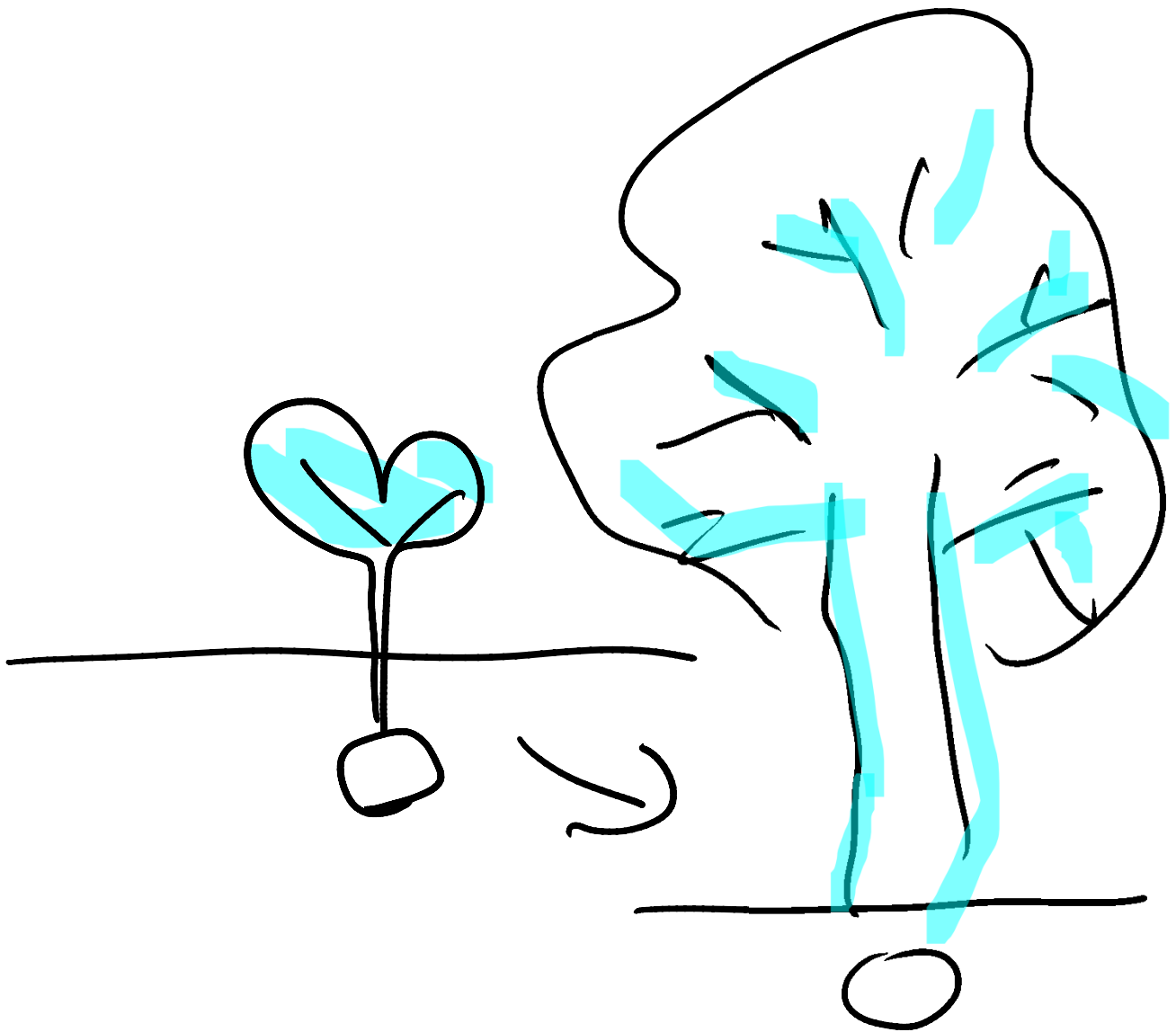
IDEAPLANT
石井力重



発想のテーマ、
これを「種」
として見ます。



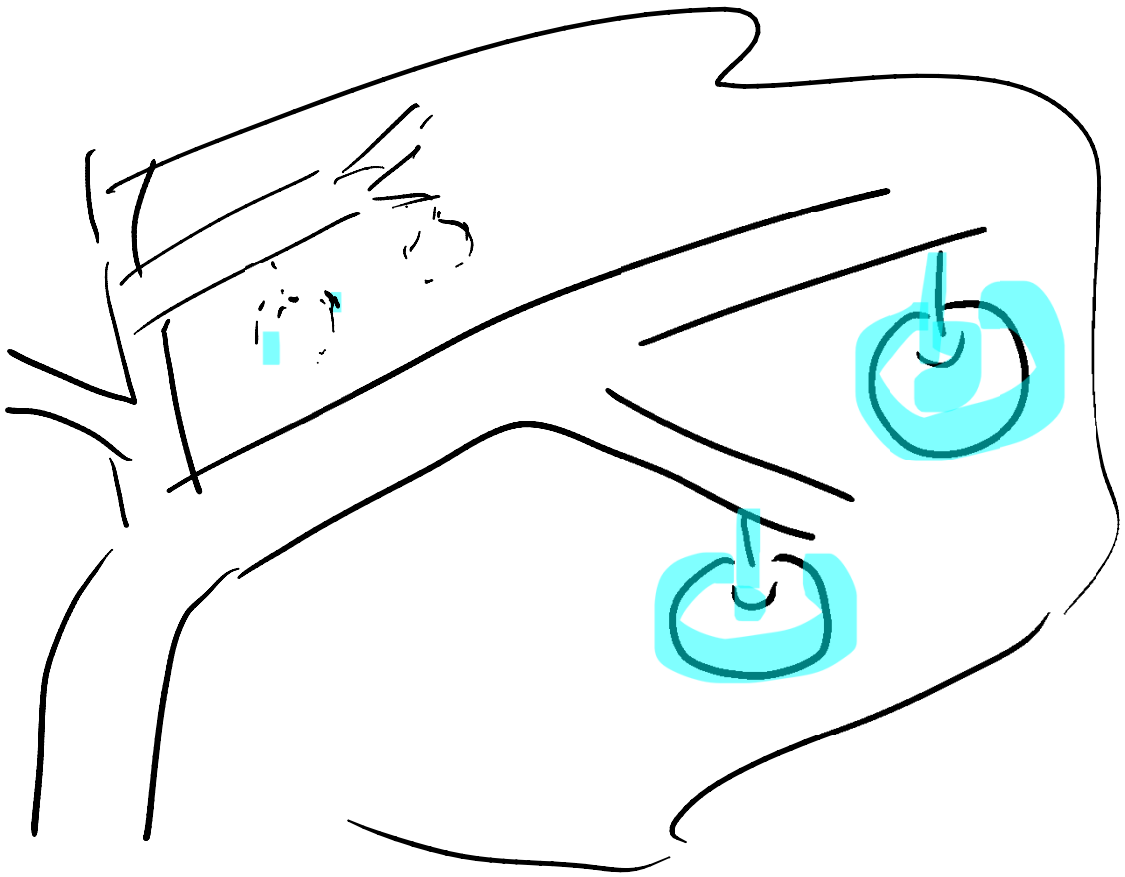
1つの種を土に埋めるところ
から話は始まります。



種から、発芽させ、
どんどん枝を伸ばしていきます。

(この発想のテーマに対して、
ブレインストーミングなどをします。

閃きがどんどん出ていき、
いろいろな着想に伸びて分化していきます。)

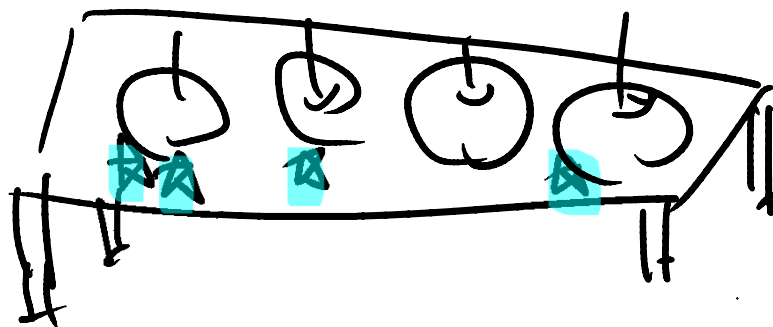
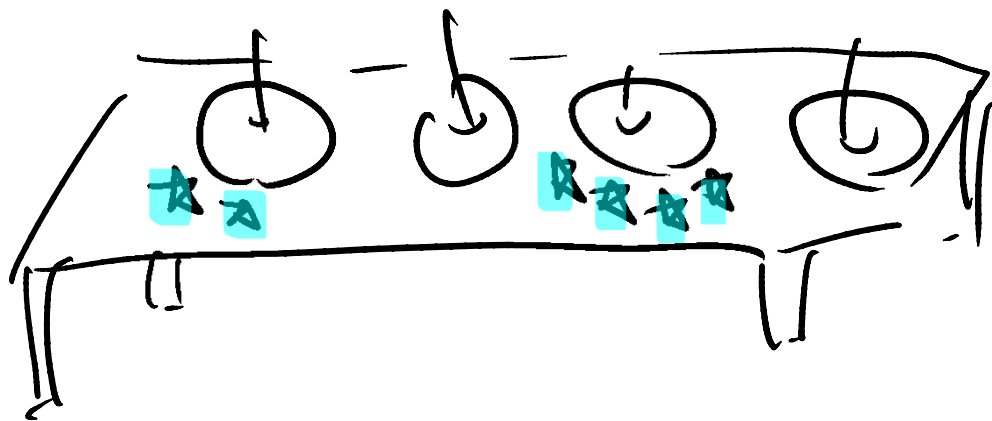


枝に実をならせます。

(閃きや着想という、
消えやすい「記憶」の状態から
もぎ取って手でいじることができる
「紙片」にします。)

(アイデアを紙に書こうとすると、
着想は得ていたのに、
うまく書き出せないところもあります。

枝が細いと実は成りにくいものです。)



もぎ取った実を、テーブルに並べて
皆で品評会です。

「おいしそう」「もっとでかくなりそう」
というものに印をつけていきます。

(テーブルをぐるぐる回って、
魅力的だなと思ったアイデアに、
☆印をつけていきます。

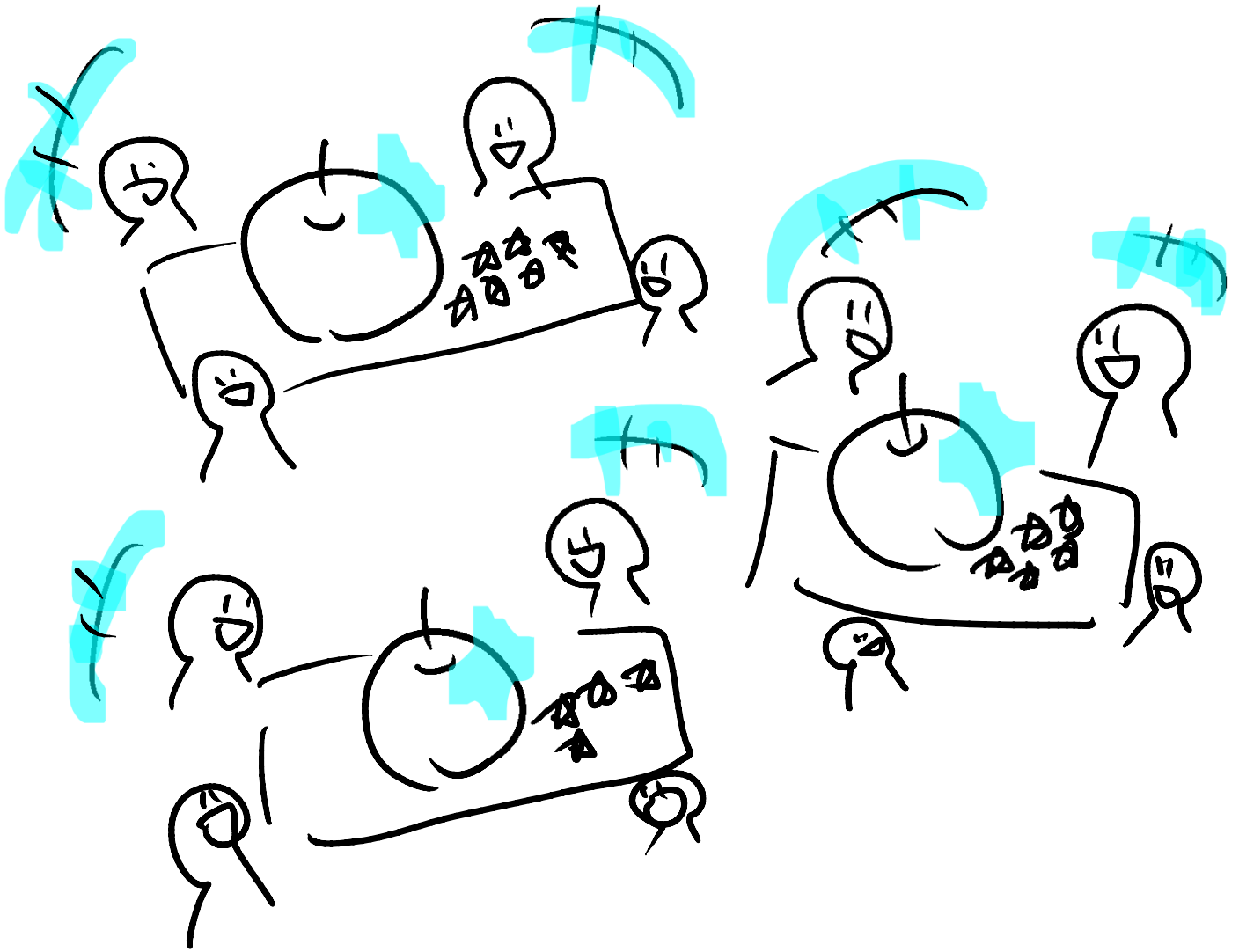
アイデアの品評会は、
「おいしそう」「でかくなりそう」じゃなく
「面白い」や
「もっと広がる可能性を感じる」ものに
印を付けます)



トップを取った実を
皆でレビューします。

この実を作ってくれた方に、
詳しく中身を、
紹介してもらいます。

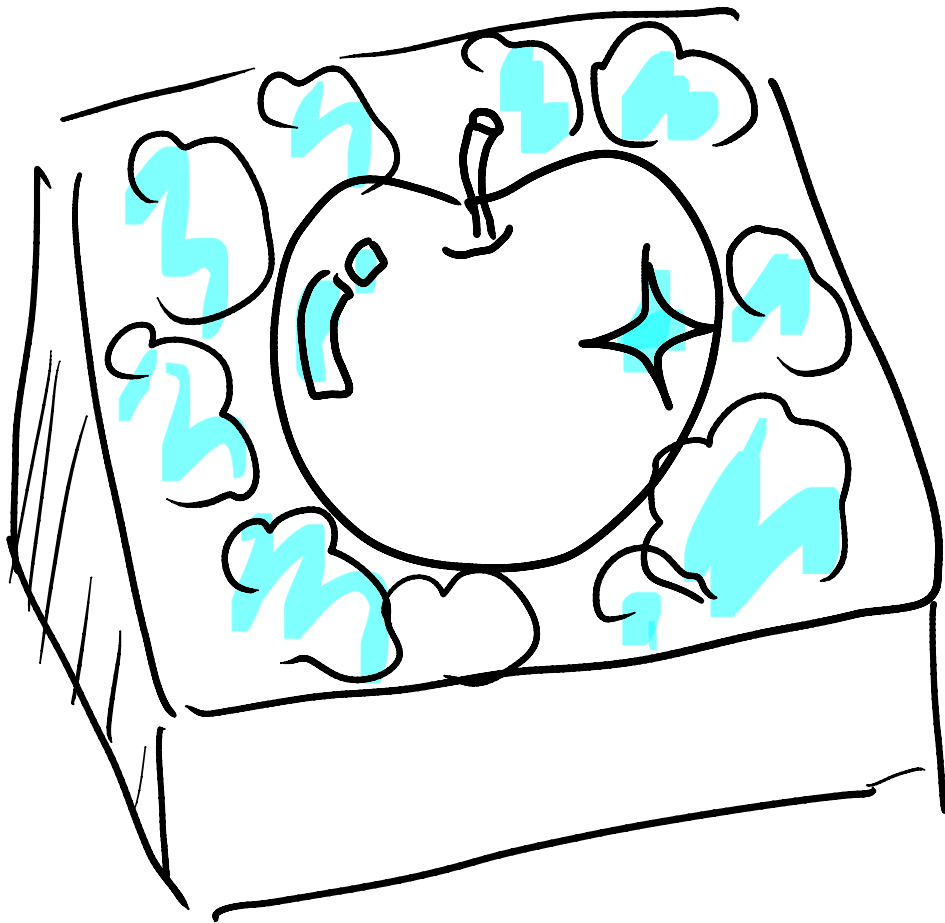
(トップアイデアをレビューします)



上位の実をいくつか紹介したら
それらの中でも
特に興味のあるところへ
それぞれ、移動します。

そして、その実を磨いていきます。

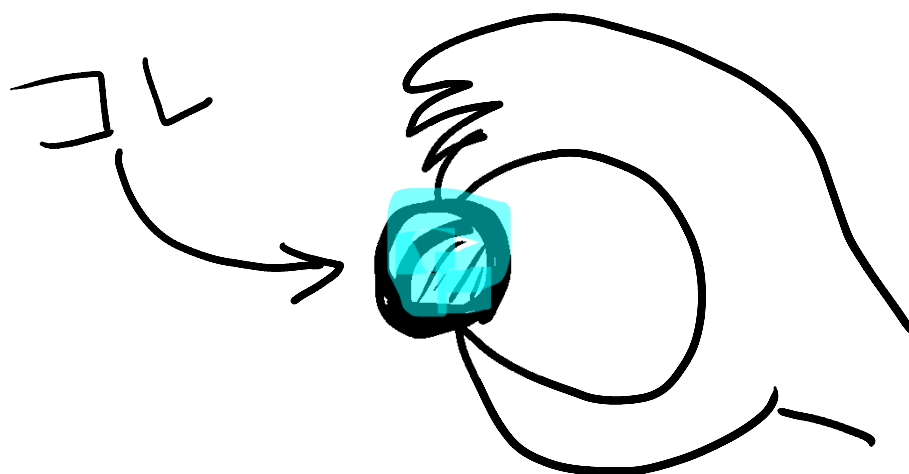
(興味のあるアイデアの所へわかれ、
そのグループで発展ブレストや、
アイデアの強化プロセスを行います。)



こうすると、実の魅力はもっと輝き、
悪くなりそうなところには、
十分なふかふかのクッションを
いれてやることができます。

(魅力が高く、実現性も高い、
スターアイデア が得られます)

でも、この物語の最初の部分、
ちょっと、気になりますよね。





最初に埋める種（テーマ）ってさ、
結構大事じゃないの？

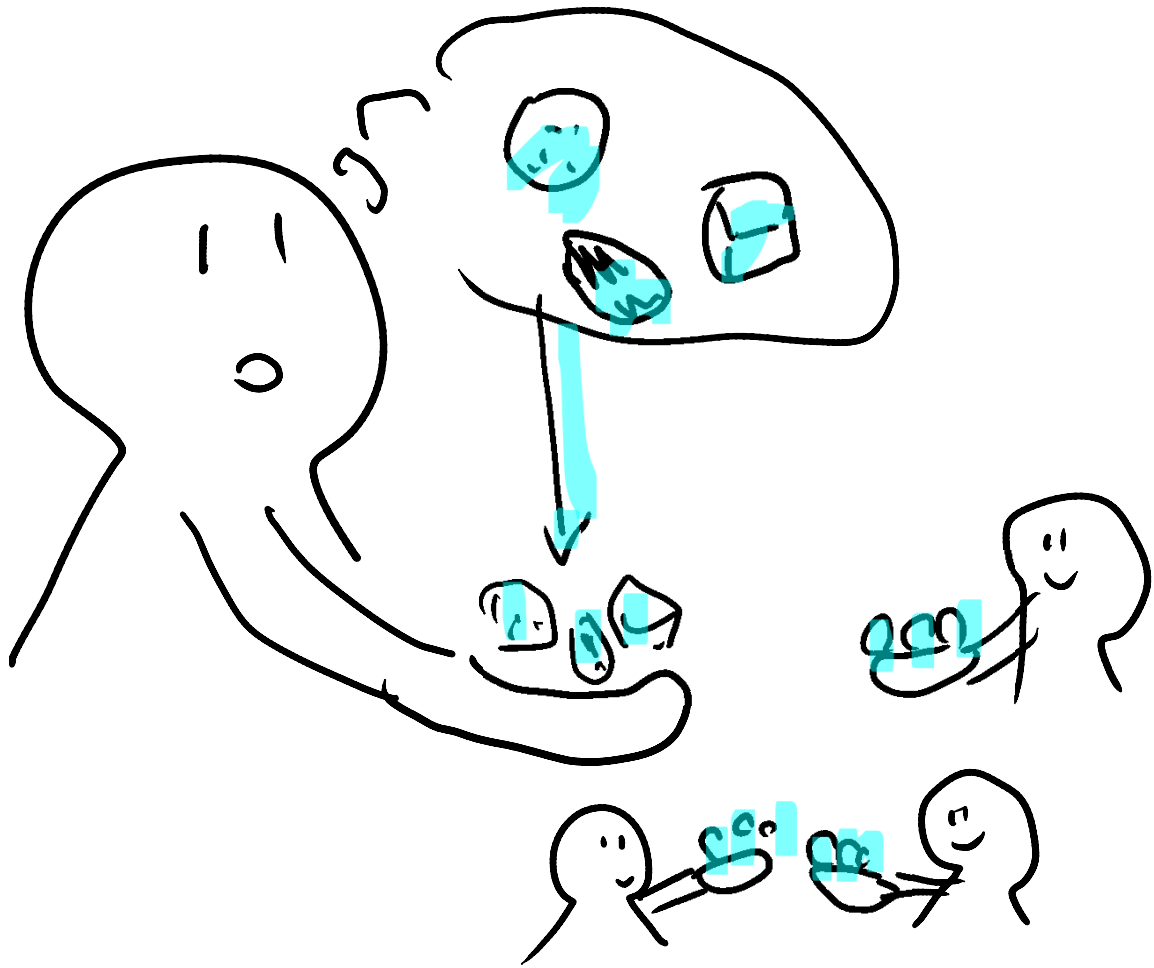
その通りです。

なかなか発芽しない種、
枝が細くて実がならない種、 もあります。

一方で、でっかい木になる種もあります。

どうやって、よい種を見つければいいのか？

そこについて、お話しします。

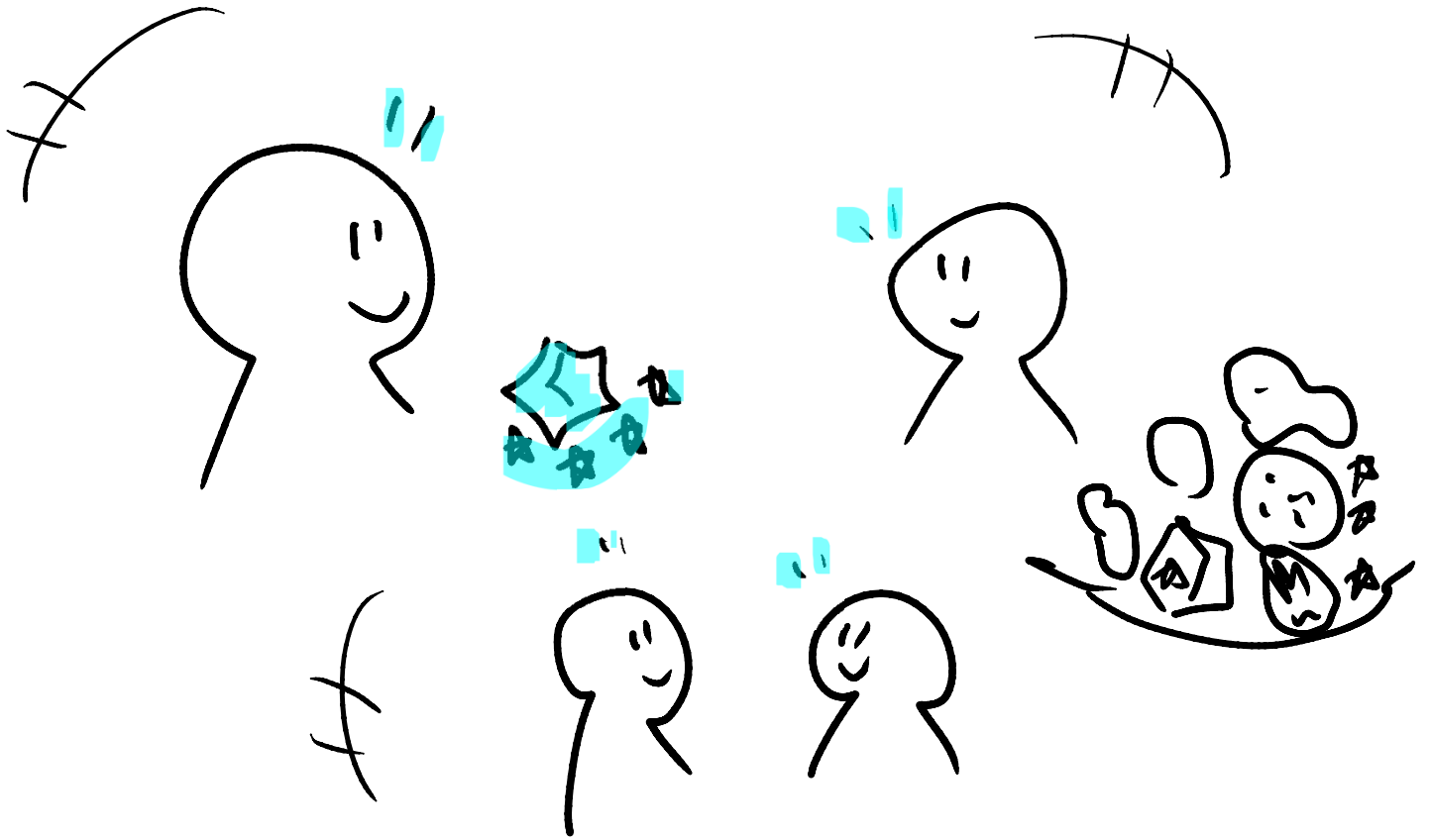


森（日常生活や職場）で見つけた
いろんな種（願いや挑戦や課題）を
手のひら一杯に集めてきます。

実は、見つけた種は、いくつかの種が
くっついていたり、かたい外皮をかぶっていて、
発芽準備のできていないものも交じっています。

発芽可能なように、ちょっといじってやります。
（テーマ設定ワークをします。）

そうして得られた実を、
メンバーで見せ合いっこします。



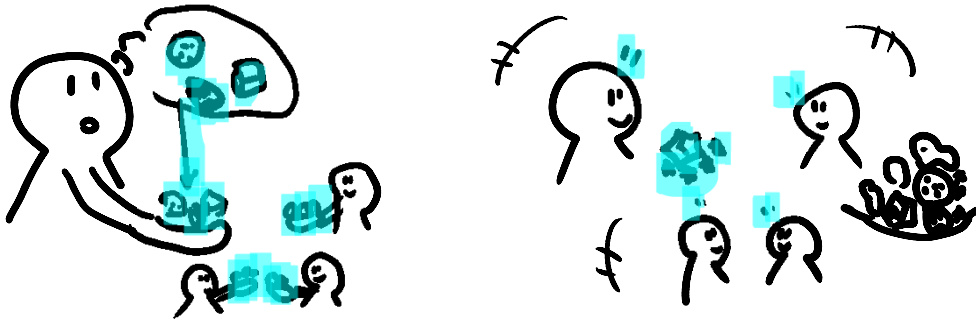
全部の種を回して行って、
「これを育ててみたい！」
と思うものがあれば
☆印をつけていきます。

そうすると、参加者の多くが
☆を付けるものが出てきます。

それら上位の種の中から、
みんなで話しあって1つの種を選びます。

こうして選び出した種だと、
育て実らせ磨くまでの間、ずっと、
皆が大きな力（想像力）を発揮できます。

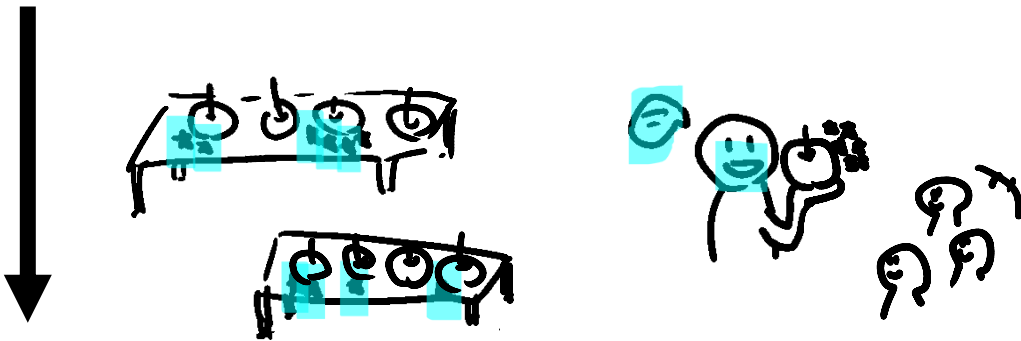
全体像



種を得る (テーマを**設定**する)



育て実らせる (アイデアを**拡**げる、書く)



品評する (アイデアを**絞**る)



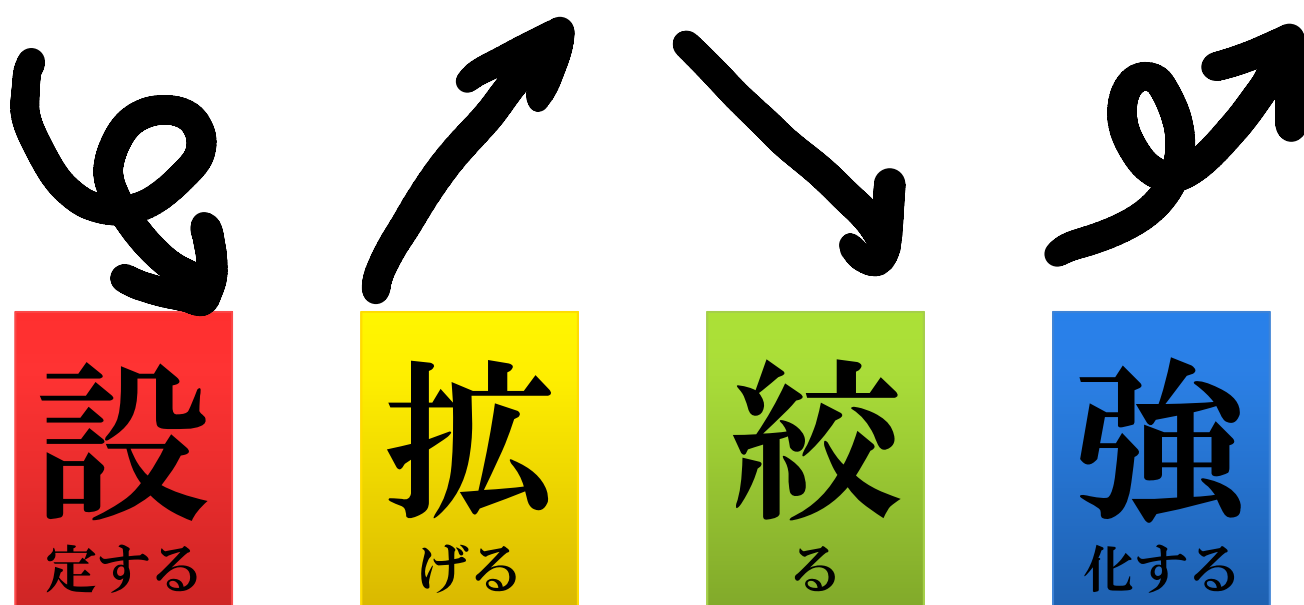
磨く (アイデアを**強**化する)

この全体像。

少しだけ、固い言い方をすると、

「優れたアイデアを創出するの4フェーズ」

なのです。



アイデアを出しが上手くいかないとき、
これらのフェーズがあることを
思い出してください。

きっと、何が足りないのか、見えてきます。

一部だけをやる時も、
全部のフェーズを見渡してみると、
ワーク設計が上手くなります。

おわりに：

ところで、これらの作業をしたとき、最後に得られる輝く実だけが、価値ある産物じゃありません。

磨けなかった実（アイデア）は：

メンバーが変われば、評価も変わります。参加メンバーが輝かせたい実が選えらばれるのですから。

残った実は「アイデアブック」として共有すると、他の人たちの発想の部品として役立つことがあります。

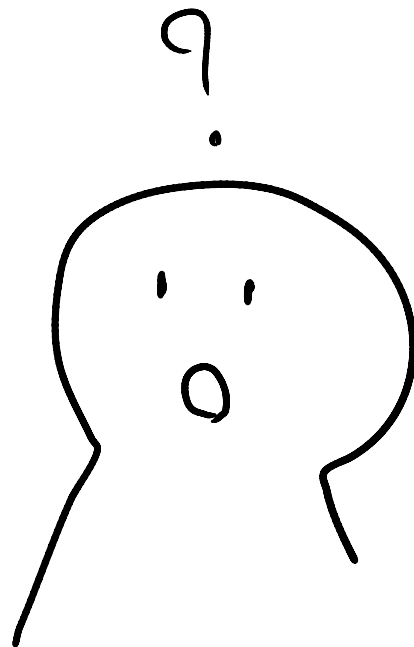
使わなかった種（テーマ）は：

メンバーが変われば、評価が変わります。参加メンバーが育てたいものが選えらばれるのですから。

残った種は「テーマ集」として共有すると、他の人たちの発想テーマとして役立つことがあります。

副産物、有効に使ってください。

あれ？
まだ、
疑問が・・・



種を埋めた土って何？
水って、やらないの？
育つための日光って？
実らない枝の剪定って、
仮にしたらどうなるの？

このアナロジーモデルは、
あなた好みにいじれるように
柔軟で、脱着可能なパーツの
組み合わせ構造で作っています。

アイデアを育てる作業の一部を
削ったり、変えたり、あるいは
あなたの考えるやり方を足して、
トライしてみてください。

あなたが引き出したい人々の
発想力をもっと引き出せる、
Idea Workshop、その輪郭が
すぐに見えてきます。